

小学校第五学年 国語 「意見文を書く」

○ 正答例

一 自分に飼えるのかどうか

最後まで飼うことができるのか

など

二 飼い主は、マナーと責任を。

小さな命に責任を果たしましょう。

など

○ この問題で身につけてほしい力

○相手に伝わるように自分の考えを書く力

○ 考え方

一 意見文の書き方のポイントのひとつに、主張や結論をどこに書くか、というものがあります。主に、次の三つの場合が考えられます。

○主張を全文の最初に書く

○主張を全文の最後に書く

○主張を全文の最初と最後に書く

野口さんは、自分の主張を強調したいと考えています。そこで「主張を全体の最初と最後に書く」ことにしたのです。

もし、野口さんの主張が最初と最後でちがう内容になっていたら、読み手はどう感じるでしょうか。

野口さんの主張がどちらなのか、読み手はまよふことになります。表現や文章の量はちがっても、最初と最後は同じ主張でつながっている必要があるのです。

ですから、この問題では、最後の段落に書かれている野口さんの主張を手がかりにまとめます。

二

野口さんの主張は、要約すると、次の通りです。

飼い主は、マナーと責任をもたなければならない。

ここでは、野口さんの主張を中心にポスターに入る文を考えます。
【条件】には「メッセージを伝えること」とありますから、見る人にうったえかけるような表現が求められます。

飼い主は、マナーと責任を。

この例では、述語を省略することで、読む人に考えさせるように工夫されています。

小さな命に責任を果たしましょう。

ミドリガメでなく「小さな命」とすることで、ペット全体を示し、呼びかける相手を広くしています。また「うしましょう」という表現は、読み手に働きかけるものです。

読み手にうったえかける表現は、他にもたくさんあります。
 野口さんの主張から外れないようにしながら、よりよい表現を工夫するとよいでしょう。

「主張を全文の最初に書く」ことを「**頭括型**」と言います。

主張が始めにあるので、読み手が内容に見通しをもつて読む文章になります。

「主張を全文の最後に書く」ことを「**尾括型**」と言います。

主張が最後にあるので、読み手が最後までじっくりと読む文章になります。

「主張を全文の最初と最後に書く」ことを「**双括型**」と言います。

主張がくり返されるので、読み手が主張をとらえやすい文章になります。

意見文の内容や文章の量などに合わせて、書き方を工夫しましょう。

